

安全のしおり



令和8年6月1日
通算第367号
安全・適正就業委員会

【安全は 無理せず焦らず 油断せず】 ・ 【高齢者 自信過剰は 事故のもと】

■ 熱中症 早めの準備で熱中症を防止しましょう

夏日になる日が増え、この夏も全国的に平均気温が高く、猛暑になる見通しで、梅雨時の大雨と熱中症に注意が必要です。

全国シルバー人材センター事業協会によると、全国のシルバー人材センターでの熱中症事故は令和7年度には2名、令和6年度には3名の会員の方が就業中の熱中症による死亡事故が発生したとのことです。

[熱中症による死亡事故]

R6年7月	男性	除草	2人で除草作業中、1人の会員が小休止で現場を離れて戻ってきたところ、もう1人の会員の姿が見当たらず、出てくるだろうと作業を再開したところ、倒れているのを発見した。
R6年7月	男性	除草	除草作業中、その場にしゃがみこんでしまい、冷房に当たり水分補給を促したが、立ち上がったところその場に倒れてしまい、1ヵ月に亡くなられた。朝から動きが悪く、小休止をとるように班員から言われていた。
R6年8月	女性	清掃	マンションの隣の庭に掃除道具を返却するため入ったところで倒れた。庭は垣根で覆われており、外から内部を窺うことは不可能な環境だった。
R7年7月	男性	墓地清掃	2人で墓地清掃作業中、当該会員が倒れる。一緒に作業していた会員が冷却処置し等行うも改善されず、緊急搬送されたが、その後亡くなられた。
R7年8月	男性	墓地清掃	早朝から墓地の除草作業で、帰宅後体調が優れなかったのか横になっていたところ、家族が異変に気づき緊急搬送されたが、その後亡くなられた。

熱中症予防として、日々の体調管理とこまめな休息、水分・塩分補給を意識的に取りましょう。また、エアコンを使用するなどして十分に睡眠をとり、疲労を溜めないようにしましょう。ご自身の小さな体調の変化も気にかけて、無理をしないことが大切です。

当センターとしては、猛暑期の屋外作業については受注制限や作業を控えさせていただいたり就業時間の短縮や小休止の頻度を増やす等、発注者に熱中症リスクを説明し、ご理解ご協力を得られるよう対応をしております。

熱中症予防

- ①水分補給 …………… 喉の渇きを感じる前に、こまめに水分補給しましょう。
- ②エアコンの活用 …… 扇風機と併用すると同じ温度でもより涼しく感じます。
- ③涼しい格好 …………… 通気性のよい服の着用。タオルを濡らし、首に巻いて体温調節。
- ④規則正しい生活 …… 食欲不振や睡眠不足は熱中症にかかりやすい。バランスの良い食事と睡眠をしっかりとる。

■ 就業に関する苦情が多発しています

一部の業務において、市民や同就業会員から就業に関する苦情や相談が寄せられています。内容は、言動が高圧的、就業中にスマホを見ている、清掃が不十分、就業時間を守らない、居眠りをしている等です。

日頃の仕事ぶりや態度は、どこで誰が見ているか分かりません。言動や仕事に対する姿勢を意識して就業していただき、市民と相対する際も言葉遣いや挨拶等、気持ちよく利用していただけるよう対応をお願いいたします。

シルバー人材センターの基本理念「共働・共助」を念頭に、会員同士、協力しながら就業しましょう。